

向こう3か月の天候の見通し

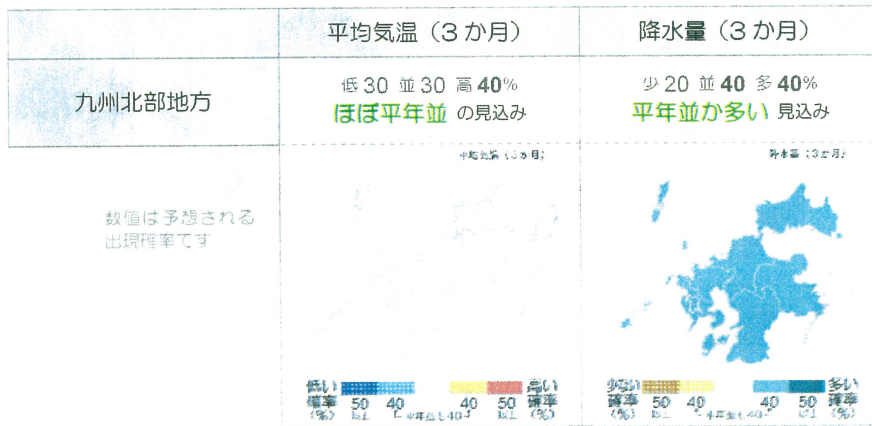
九州北部地方 6月～8月

福岡管区気象台

予報のポイント

- 3か月間の降水量は平年並か多いでしょう。
- 6月は前線や湿った空気の影響を受けにくいいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
- 7月は太平洋高気圧の本州付近への張り出しが弱いため、前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。
- 8月は太平洋高気圧の本州付近への張り出しが弱いため、湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

3か月の平均気温・降水量



月別の天候

6月	7月	8月
前線や湿った空気の影響を受けにくいいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。	前線や湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。	湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

月別の平均気温・降水量

	平均気温 6月	平均気温 7月	平均気温 8月
九州北部地方	低 20 並 30 高 50% 高い見込み	低 40 並 30 高 30% ほぼ平年並の見込み	低 40 並 30 高 30% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率です			
	降水量 6月	降水量 7月	降水量 8月
九州北部地方	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並が多い見込み
数値は予想される出現確率です			

予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- エルニーニョ現象が続き、ニューギニアの東～太平洋東部では海面水温が平年より高く、積乱雲の発生が多い見込みです。一方、インド洋北部～フィリピンの東では、積乱雲の発生が少ないでしょう。
- 上空にあるチベット高気圧は弱く、偏西風は大陸から日本付近にかけて平年より南を流れる見込みです。
- 太平洋高気圧は、日本の南で強く、本州付近への張り出しは弱い見込みです。このため、北日本から西日本にかけては、太平洋高気圧の縁を回って湿った空気が流れ込みやすいでしょう。

